
課題名：せん妄リスクに配慮した睡眠薬使用下でのせん妄出現に関する研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、せん妄について、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。
せん妄とは、病気・入院による環境変化・治療などのストレスから、夜眠れずに半分夢を見たような状態になってしまう病気のことです。

◆対象となる患者さん◆

2017年10月1日から、2018年9月30日までの間に、倉敷中央病院入院中に精神科でせん妄治療を受けた65歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、認知症の有無、せん妄の既往、入院病名、緊急入院か否か、手術の有無、依頼は入院から何日目か、飲酒習慣、オピオイド投与の有無、ステロイド投与の有無、ベンゾジアゼピン受容体作動薬服用の有無、依頼前夜のせん妄の有無、精神科診療後のベンゾジアゼピン受容体作動薬の中止の有無、ラメルテオン/スボレキサント投与禁忌事項の有無、C反応性蛋白値、治療内容、使用薬剤等、精神科診療時の睡眠覚醒サイクルの異常、1週間以内のせん妄出現の有無、有害事象。

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

順天堂大学医学部附属練馬病院の八田耕太郎医師が研究主体となって実施しており、全国10施設が参加しています。

主体のホームページ http://www.juntendo.ac.jp/hospital_nerima/

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

精神科 提供責任者 土田和生

E-mail: kenkyu★chnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明